

みずほCustomer Desk Report 2018/08/21 号 (As of 2018/08/20)

国際為替部 為替営業第二チーム

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.55
TKY 9:00AM	110.49	1.1438	126.37	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	110.68	1.1485	126.45	1.2745	0.7309
SYD-NY Low	110.02	1.1395	126.12	1.2799	0.7344
NY 5:00 PM	110.07	1.1481	126.42	1.2730	0.7296
				1.2799	0.7340
NY DOW	25,758.69	89.37	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,821.01	4.68	日本10年債	0.0900	0.00bp
S&P	2,857.05	6.92	米国2年債	2.5852	▲2.49bp
日経平均	22,199.00	▲71.38	米国5年債	2.6980	▲4.42bp
TOPIX	1,692.15	▲5.38	米国10年債	2.8181	▲4.51bp
シカゴ日経先物	22,180.00	▲90.00	独10年債	0.3025	0.00bp
ロンドンFT	7,591.26	32.67	英10年債	1.2225	▲1.10bp
DAX	12,331.30	120.75	豪10年債	2.5350	▲0.95bp
ハンセン指数	27,598.02	384.61	USDJPY 1M Vol	7.27	0.10%
上海総合	2,698.47	29.50	USDJPY 3M Vol	7.70	▲0.05%
NY金	1,194.60	10.40	USDJPY 6M Vol	7.98	▲0.03%
WTI	65.42	▲0.49	USDJPY 1M 25RR	-1.20	Yen Call Over
CRB指数	189.11	0.37	EURJPY 3M Vol	9.18	▲0.02%
ドルインデックス	95.90	▲0.20	EURJPY 6M Vol	9.38	▲0.10%

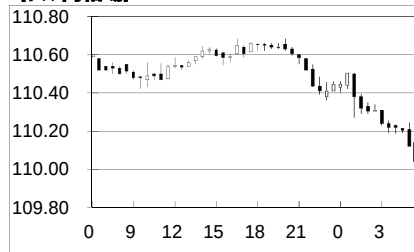
[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
8月20日	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	7月 0.2%/3.0%	0.2%/3.0%
8月21日	00:00	米 ボスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	「政策金利がより中立水準に向かうことを支持」	

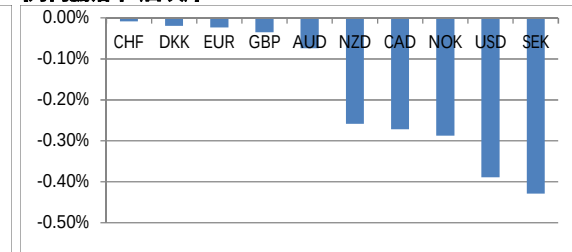
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
		特になし		

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.1450-1.1550	125.70-126.70

[マーケットインプレッション]

昨日海外時間のドル円相場は下落した。米金利低下を受けて、ドル売りが先行するとドル円も110円台半ばから110円台前半まで軟調に推移。さらに、「トランプ米大統領がFRBパウエル議長が低金利政策を採っていないと嘆いていた」との報道に、米金利が一段と低下するとドル円は6/28以来となる110.02円まで下落した。本日のドル円相場は方向感に欠ける展開を予想する。トルコが大型連休に入りVIX指数は低下、リスクオフムードは一旦、収まっている。今週はFOMC議事要旨、ジャクソンホール会議、米中通商協議再開と重要イベントが多数控えており、本日、東京時間についてはやや様子見姿勢が強く、110円絡みで揉み合う展開を予想する。

東京	東京時間のドル円は110.49レベルでオープン。一時110.42まで値を下げる局面も見られたが、この日は五・十日に当たることもあり実需勢のドル買い70-等を背景にすぐに下げ止まった。その後は週後半に米中次官通商協議、ジャクソンホールでのパウエルFRB議長による講演等の重要イベントが控えていること等から様子見ムードとなった。狭いレンジ内での推移が続く中、引けにかけて小幅に上昇し、110.59レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は110.59レベルでオープン。今週後半に米国で複数イベントが控えていることもあり動きは薄く小動き。110.58レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1425レベルでオープン。欧州時間昼ごろまで売られ1.1395まで低下したものの、ボンドにつられ形で買い戻され1.1422レベルでNYに渡った。(ロンドン7月31日 00531 444 179 清)
ニューヨーク	週後半に米中通商協議の再開、ジャクソンホールでパウエルFRB議長の講演、FOMC議事録の発表等の重要イベントを控える中、海外市場のドル円は様子見ムードが強く110.60近辺を推移し、110.58レベルでNYオープン。この日は米経済指標の発表はなく、朝方は米金利低下の動きにつれて110.36まで下落。その後110.50まで戻すが、「低金利政策を期待していたトランプ米大統領がパウエルFRB議長の利上げ姿勢に対し不満をもらしている」とのヘッドラインが伝わったことから、ドル売りが進み110.27まで下落。11時からボスティブ・アトランタ連銀総裁が講演を行っているが、特段目立った発言はなく市場の反応は限定的だった。午後は米10年利回りが1ヶ月ぶりの低水準の2.82%付近で推移し、ポジション調整のドル売りも散見される中、ドル円は110.02まで下落するが、節目の110円ちょうどが意識され下抜けできず、110.07レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1421レベルでNYオープン。朝方は、米中通商協議の再開への期待によるリスクオフのドル買いの巻き戻しや、上記トランプ米大統領の報道を受け、ドル売りが強まったことから1.1464まで上昇。終盤も1.1500レベルが意識される中、1.1485まで上昇し、1.1481レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 関・森谷